

ニ次ノ除鼠施設ヲ勵行シテ之ニ代ラシムルコト  
(ハ)實行方法

一 沿岸及準沿岸倉庫所有者ニ向テ前記(二)ノ各號ヲ印刷シテ配付シ倉庫所有者並係員相會シ實地調査ノ上前各號ノ具體的方法ヲ協議シ設備ニ關シテハ期間ヲ定テ之レカ實行ヲ期スルコト

二 尚準沿岸倉庫ニ對シテハ前記二及三號ハ成ルヘク之カ實行ヲ勸奨シ其他ノ各號ノ實行ヲ勵行スルコト

三 國有縣有市有等ノ倉庫ニ對シテハ各其ノ主管者ニ於テ具體的方法其ノ費用概算等ヲ作製シ内務省出張員ト協力シテ夫々稟議協議等ヲナシ之レカ實行ヲ計ルコト

四 沿岸準沿岸倉庫ニ於ケル防鼠設備ニ要スル期間ハ左ノ標準ニヨル

小改修ヲ要スルモノ 十四日以内

大改修ヲ要スルモノ 二ヶ月以内

五 之等實行ノ成績監視ハ臨時海港檢疫所員及縣衛生課員ニ於テ豫メ協議又ハ通達シタル要項ニ對照シテ巡視ナシ其ノ成績

ハ一週間毎ニ取纏メ毎火曜日内務省衛生局飯村防疫官宛報告スルコト

(毎月曜日ニ到着スル如ク警察部長宛トスルコト)

第二 除鼠施設

(イ) 沿岸地區 (ハ) 港船直接繫船又ハ之ニ準スル地帯ノ範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シトシテ別紙第三號ノ通りトス

(ロ) 準沿岸地區 (沿岸地ニ隣接スル地帯及準沿岸倉庫所在地ノ範圍ヲ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シトシテ別紙第四號ノ通りトス

(ハ) 沿岸地區準沿岸地區内ニ於ケル倉庫及建物ヲ便宜上左ノ三階級ニ區別ス

第一回殺鼠劑及捕鼠器配布標準

標準坪數	沿岸地區			防鼠設備ニ ヨル倉庫別	準沿岸地區		
	殺鼠劑 配付個數	捕鼠器 配付個數	施行回數 ケ月		殺鼠劑 配付個數	捕鼠器 配付個數	施行回數 ケ月
二〇	一五	一	一回	A	二〇	一	一回
二〇	三〇	二	二回	B	二〇	二	一回
二〇	五〇	四	三回	C	二〇	四	二回
第二回以後							
二〇	一	一	一回	A	二〇	一	一回
二〇	四	二	二回	B	二〇	二	一回
二〇	二〇	四	三回	C	二〇	四	二回

A級 外壁床等ハ石煉瓦「コンクリート」等ノ防鼠材料ニテ築造セラレ鼠ノ棲息殆ントナク且ツ扉ヲ閉チタル時鼠ノ出入全ク不可能ナルモノ

B級 外壁カ前記防鼠材料ナルモ床ハ土間又ハ板張りニテ通常ノ場所鼠ノ交通不可能ナルモ建物古クシテ鼠ノ棲息シ且所々ニ鼠交通ノ穴アル如キモノ

C級 外壁及床共非防鼠材料ニテ建築物古ク小修繕スルモ當時到底鼠ノ交通ヲ絶ツコト能ハサルモノ前各級ノ内鼠ノ食料タル物件又ハ綿花類ヲ收納セサル倉庫納屋等及人ノ住居ナキ家ニテ鼠ノ全ク棲息セサルモノハ之ヲ除外ス

(ニ) 沿岸及準沿岸地區ニ對シテハ殺鼠劑ノ配布及捕鼠器ノ引上ケ回數ヲ左ノ如クスルコト

(ホ) 殺鼠劑ハ沿岸地區ニ對シ其ノC級ニハ殆ント各室(廣大ナルモノニ對シテハ大體住宅ノ間數ヲ標準トス) B級ニハA級ノ倍容積ヲ標準トシ數個宛ヲ配付スルコト

(ハ) 捕鼠器及殺鼠劑ハ大概前表ニヨルモ其ノ鼠族ノ數及倉庫其他ノ狀況ヲ考慮シ其ノ數及配置ヲ參酌スルコトアルヘシ

(ト) 沿岸地區ノ護岸及之ニ接續スル場所ニハ破損其他ニヨリ鼠ノ通入潛伏シ得ル狀況ノモノハ之ヲ修理填塞スルハ原則ナル

モ止ヲ得サルモノハB級ニ準シ殺鼠劑又ハ捕鼠器ノ配置ヲナスコト

(チ)沿岸地區ニ面シ又ハ常ニ解ニシテ鼠棲息ノ疑アルモノニ對シテハ捕鼠器ヲ配置スヘシ

但シ捕鼠器ハ解ノ所有者又ハ荷主ノ準備スルモノトス

(リ)捕鼠器及其ノ餌ニ付テノ準備又ハ配置或ハ引上ハ倉庫所有者各自ニ於テナスコト

(ヌ)殺鼠劑ハ縣ニ於テ調製シ人夫ヲシテ營業者ニ配付スルモ又各倉庫業ヨリモ有效ト認ムル殺鼠劑ハ自由ニ散置スルコト

(ル)縣ヨリ係員一名警察官一名人夫一名計三名ノ定員ヲ以テ一班トスル捕鼠班三班ヲ組織シ捕鼠劑ノ配布及捕鼠蒐集ニ便ナ

ラシム而シテ其ノ人夫ハ市ヨリ派遣セラル、モノトス

(ヲ)捕鼠ハ市ヨリ沿岸及準沿岸ニ各一名ノ人夫ヲ配屬セシメ水上署ノ監督ノ許ニ其ノ蒐集ニ從事ス

(フ)沿岸及準沿岸ノ區域ニ於ケル捕鼠蒐集場所ハ左記ニ依ルモノトス

江川署管區 鹽町派出所

新榮署管區 傳馬町派出所

笹島署管區 下廣井町派出所

門前署管區 正木町派出所

熱田署管區 新尾頭白鳥派出所

築地署管區 築地署

以上除鼠施設ノ實行ニ伴フ巡視ハ市及縣ヨリ各係員ヲ命シ協同之ニ當ラシムルコト

上記各號ノ實施狀況ヲ一週間毎ニ(毎火曜日迄)取纏メ縣ヨリ内務省衛生局飯村防疫官宛報告スルモノトス

(カ)前記ノ方法ニヨリ捕鼠ヲ完全ニ遂行スルノ目的ヲ以テ市ニ於テハ捕鼠ノ買上ト同時ニ債券及電車回数券ノ抽籤券ヲ附與

スルコトニ協定セリ

以上ノ防鼠設備並ニ捕鼠勵行ハ昭和三年六月二十日ヨリ實施ノコト

第三 第一次協議事項ノ決定

以上全部ノ協議事項ハ左記ノ範圍ノ責任者會同決定シ各協力シテ之カ實行ヲ期ス

内務省出張員 飯村防疫官

愛知縣衛生課愛知縣港務所

臨時海港檢疫所

名古屋水上警察署

名古屋市保健部

第二次協議事項ノ決定

水上警察署ニ於テ左記ノ倉庫業者及關係當局相會シ實施事項ヲ協議シテ之レカ實行ヲ期ス

内務省出張員(飯村防疫官)

愛知縣衛生課

臨時海港檢疫所

水上警察署 熱田警察署 江川警察署 新榮警察署 笹島警察署

東陽倉庫株式會社

東神倉庫株式會社

日清製粉株式會社

川西倉庫株式會社

東陽倉庫株式會社堀川支店

名古屋港務所

第一號(省略)

第二號表(省略)

第三號表

築港第一號地ヨリ第二號地ニ至ル築港市街地全部

第四號表

堀川兩沿岸ノ地域ニシテ西側ハ鹽町ヨリ築地市街ニ至ル區間、東ハ長畝町ヨリ東築地南陽館ニ至ル區間トシ防鼠設備ヲ要スル倉庫所在地區左ノ如シ

西側

鹽町、大舟町、舟入町、内屋敷町、納屋町、水主町

東側

西區長畝町、中區天王崎町、正木町、下堀川町、南區新尾頭町、白鳥町

重要海港防疫施設(自七月三十一日名古屋港)

(甲)「ベスト」關係

(一)棧橋岸壁ニ於ケル荷役時ノ防鼠施設

入港外航船舶數

一九一隻

已施行船舶數

新ニ命タル船舶數

備

考

ラットガード

繫留索「タイル」塗布

渡橋防鼠扉

渡板業「タイル」塗布

其他

計

(二)倉庫防鼠設備

庫倉岸沿準				庫倉岸沿				倉庫等級		適用倉庫數		新ニ設		備		鼠返施設倉庫數		備		考	
完了倉庫	計	A 級	B 級	C 級	完了倉庫	計	A 級	B 級	C 級	戸原等土器等	修繕倉庫數	内部地盤	改修倉庫數	外部壁戸	改修倉庫數	鼠返施設倉庫數	備	考	備	考	
一五二	一四二	一五一	一四二	一五一	六六	一〇	三九	一六	五五	四〇四	四〇四	四〇四	四〇四	五二	五二	七	三九	六	二五一	二二三	二二五
三四三	五二	四〇四	四〇四	四〇四	五六	五五	五五	五五	五五	五二	五二	五二	五二	四八四	四八四	四八四	四八四	四八四	四八四	四八四	四八四

(三)除鼠施設

沿岸地			建物等級		建物數		殺鼠劑		配布		捕鼠器		配置		備考	
A 級	B 級	C 級	建物等級	建物數	配布個數	見數	配布	捕鼠器數	配置	捕鼠器數	配置	捕鼠器數	配置	備考	備考	
五九	一〇	一〇	A 級	五九	二〇、二〇〇	五九	五九	三三八	三三八	四二三	四二三	二八一	二八一			
			B 級	一〇	一五、〇〇〇	六	六	三四二	三四二	二八一	二八一					
			C 級													



(9) 滋賀縣

悠紀齋田三上村ニ對スル衛生施設

悠紀齋田タル野洲郡三上村ニ對シテハ村民及奉耕者ノ健康ヲ保チ殊ニ服ムヘキ傳染病患者等ノ發生ナキ事ヲ期シ左ノ如キ衛生施設ヲ實行セリ

一、健康診断

悠紀齋田奉耕者及其ノ家族七百二十名ニ對シ前後三回ノ健康診断ヲ實施シ異常アル者ハ速ニ醫療ヲ受ケシメタリ別ニ齋田所在地大字三上ノ村民壹千五十六名ニ對シ一回健康診断ヲ實施シ尙引續キ時々檢病的戸口調査ヲ勵行セリ

二、保菌検査

大字三上村民壹千五十六名ニ對シ保菌検査ヲ實施シ奉耕者及其ノ家族七百二十名ニ對シ前後三回ノ保菌検査ヲ實行セリ

三、チフス豫防注射

三上村民中十年以上六十年以下ノ者九百九十五名ニ對シチフス豫防注射ヲ實施セリ

四、寄生蟲驅除

三上村民全部ニ(四月ヨリ十月迄)對シ海人草ヲ交付シ一ヶ月一回宛之ヲ服用セシメ以テ蛔蟲ノ驅除ヲ勵行セリ

五、水質検査

三上村全村ノ井戸二百七十九個ノ水質検査ヲ實行シ其ノ飲料不適ノ井戸八十八個ニ對シテハ夫々現場井戸ニ就キテ不良ナル個所ヲ指摘シ井戸ノ改修ヲ行ハシメ或ハ井戸ノ浚渫又ハ濾過裝置ヲ設備セシメタリ又時々井戸ノ「クロール」消毒ヲ實施セシメタリ

六、種痘

奉耕者其ノ家族五百四十七名ニ對シ臨時種痘ヲ實施ス

七、石油乳劑ノ配付

三上村全村各戸ニ一戸當一ヶ月一斗五升宛四月ヨリ九月迄石油乳劑ヲ配布シ下水溝渠及便所等ニ撒布セシメ蚊及蠅等ノ驅除ニ資セシメタリ

八、三上村各字ノ區長及衛生組合理事八名ヲ衛生巡視員トナシ其ノ下ニ三十名ノ青年團員ヲ配屬セシメ各字民ノ健康狀態前記各項ノ施設事項勵行ノ監督及清潔整頓、溝渠下水ノ浚渫、便所汲取口ノ覆蓋ノ實行等ノ監督ニ從事セシメ且ツ當該官吏ヲシテ之カ實施監督ヲ實行セシメタリ

一 般 衛 生 施 設

一、衛生思想啓發ニ關スル件

縣民ノ衛生思想ノ普及向上ヲ計ル爲メ衛生講話會、衛生展覽會、衛生活動寫真會等ヲ開催シ猶ホ自風會ト稱スル衛生劇團ヲ後援シテ巡回興行ヲ爲サシムルノ外別紙「縣民ニ告グ」ト題スル衛生上ノ注意事項ヲ平易ニ印刷シテ各戸ニ配布セリ而シテ此等衛生思想啓發ニ關スル諸會合ノ狀況ハ次ノ如シ

會開會度數	六、〇〇〇	衛生活動寫真會開會度數	三、七九四	衛生講習會開會度數	九〇三	衛生展覽會觀覽者數	六、〇〇一
會開會度數	六、〇〇〇	衛生活動寫真會觀覽者數	三、七九四	衛生講習會觀覽者數	九〇三	衛生展覽會觀覽者數	六、〇〇一
會開會度數	六、〇〇〇	衛生活動寫真會觀覽者數	三、七九四	衛生講習會觀覽者數	九〇三	衛生展覽會觀覽者數	六、〇〇一
會開會度數	六、〇〇〇	衛生活動寫真會觀覽者數	三、七九四	衛生講習會觀覽者數	九〇三	衛生展覽會觀覽者數	六、〇〇一

二、飲料水ニ關スル件

(一) 飲料水ニ關スル試験

昭和三年七月以降九月迄ニ於テ大津市並ニ其ノ附近及御沿道重要驛附近ノ宿屋、料理屋、飲食店、牛乳搾取所、菓子製造業等ノ飲料水検査ヲ施行ス

検査總數	飲料ニ適スルモノ	飲料不適ノモノ
一、五五八	五一三	一、〇四五

之ヲ警察署別及驛別ニセハ左ノ如シ

警察署及驛別	検査数	飲料水ニ適スルモノ	飲料不適ノモノ
大津署	六六六	二〇〇	四六六
堅田署	四七〇	八七	三八三
米原、醒井、彦根、各驛	九〇	五五	三五
草津、野川、守山、貴生川、手原各驛	五九	三六	二三
寺庄署	二七三	一三五	一三八
合計	一、五五八	五一三	一、〇四五

飲料不適ノ原因調査表

クロール多量	五一一	クロール有機物多量	二
有機物多量	二〇二	亜硝酸含有	五
クロール多量	二七四	有機物多量	二
有機物多量	一一	亜硝酸含有	三
アムモニア含有	九	有機物クロール多量	一
アムモニア含有	一九	亜硝酸アムモニア含有	六
クロール有機物多量	一〇二六	外觀不適	一九
アムモニア含有	一、〇四五	合計	一九

而シテ不適井戸ニ就テハ實地踏査ヲ爲シ

(1) 井戸側ノ構造、井戸周囲ヨリ透水ノ箇所ナキヤ否ヤ

(2) 井戸所在地ハ周囲ノ土地ヨリ低クシテ地上ヲ流ルル水ノ井邊ニ滞留スルコトナキヤ否ヤ

(3) 井戸附近ノ下水、便所、汚物溜等ノ關係

(4) 職業ノ種類等不適ノ原因ヲ探査シ其ノ他濾過シテ飲料ニ適スルモノニハ濾過方法ヲ講セシメ夫々改善方法ヲ指示シ實行セシメタリ

(二) 井戸ノ消毒

十一月二日大津市及石山、阪本、雄琴ノ各村並御沿道重要各驛附近ノ井水消毒ノ爲消毒藥「クлайト」ヲ井戸一箇ニ付二「グラム」ノ割合ニテ大津市ニ四千五百「グラム」阪本、雄琴、石山ノ各村、草津、野洲、守山、八幡、彦根、米原、能登川、貴生川、石部、三雲、手原、深川、大原市場ノ各驛ニ二百二十五瓦宛配布シ井戸ノ消毒ヲ嚴重ニ施行ス

(三) 簡易水道新設數

關係戸數	團體名
四七	伊香郡丹生村上丹生
八	東淺井郡上草野村野瀬
一二	犬上郡芹谷村桃原
一二	同 村宮前
一六	同 村安原
一五	同 芹谷村
四一	坂田郡鳥居本村
五〇	犬上郡脇ヶ畑村

三、便所及下水改良ニ關スル件

項目	共同便所改良數	共同便所點燈數	溝渠下水改良個所數	同上間數
大津	四	八	二五	

寺庄	三
武佐	一
八日市	一
計	三、九二〇余

四、警察取締ニ關スル諸營業者健康診断ニ關スル件

警察取締ニ關スル諸營業者ニ對シテハ屢々期日ヲ定メ縣下一齊取締ヲ勵行シ又營業者ヲ集合セシメ一齊取締ノ成績ニ就テ講評シ殊ニ旅人宿、飲食店、料理屋、食物販賣業者、湯屋、理髮業者ニ對シテハ注意書ヲ印刷セシメ之ヲ頒布シ以テ其實施ノ徹底ヲ期シタリ而シテ臨檢戸數注意件數調及健康診断成績等次ノ如シ

警察取締ニ關スル營業者臨檢度數及注意件數調

旅人宿	飲食店	料理屋	飲食物販賣業者	
			臨檢度數	注意件數
一四、九五〇	三、八八九	二六、五五三	五、〇八四	一一、五九一
			一二、五九一	三、五二六
			二五、九九九	五、〇一四

警察取締ニ關スル營業者健康診断成績表

警察取締ニ關スル營業者

營業者及家族	同居人又ハ使用人	以上計	診斷ノ結果發見シタル病者			同上中トラホーム、結核治療票ヲ交付シタル人員數	同上中營業停止ヲ命ジタル人員數
			トラホーム	結核	其他		
一六、一四〇	六、三六二	二二、五〇二	一七七	二二	七	一六三	三

工場職工健康診断成績表

工場職工

營業者及家族	同居人又ハ使用人	以上計	診斷ノ結果發見シタル病名			同上中トラホーム、結核治療票ヲ交付シタル人員數	同上中營業停止ヲ命ジタル人員數
			トラホーム	結核	其他		
二二三	二〇、九二九	二二、一五二	一三五	九	一六	九五	一

飲食物取締ニ關スル試驗成績

檢査件數	不適件數	防腐劑	人工甘味質	着色料	飲食器具	飲料水涼	氷雪	菓子罐詰	獸肉	清酒	メチールアルコール	其ノ他
一	一	一	一	一	五三	三七	一	六	七	一	九	

牛乳搾取所乳牛及牛乳檢査ニ關スル件

(イ)牛乳搾取營業所

臨檢總度數

一四五

注意件數

二八

(ロ)乳牛檢査

臨檢頭數

一、九四四

禁止頭數

ナシ

(ハ)牛乳

檢査件數

二六二

内不適件數

二四

(ニ)乳製品

檢査件數

二七二

内不適件數

五九

檢病的戸口調査ニ關スル件

戸數

人口

發見傳染病患者數

同普通病患者數

一一三、九一八

五八五、六四二

五六(腸チフス、四三、赤痢、六、猩紅熱、一六)

一一、三二〇

健康診断ニ關スル件





備考 疎水関係船員、舟夫等保留検査中(イ)表計二、二二四及(ロ)表計九六七總計三、一九一、八十、保留者調査ニ關スル件「中(イ)表」大津「四〇二」中ニ包含セラルルモノナリ

六、救護事業ニ關スル件

御召列車縣下御通過ノ際毎ニ所在郡醫師會ハ重要驛ニ救護班ヲ設ケ拜觀者ノ救護ニ任セリ其ノ成績次表ノ如シ

救護事業成績表 (御召列車御通過ノ際拜觀者ノ救護)

署名	項目	驛名	延日數	負傷者數	病者數	救護班數
草津	守山	草津山	八			二
石部	石部	野洲	七	六	二	二
八幡	八幡	能登川	二			一
愛知	愛知	能登川	二			一
八幡	八幡	能登川	二			一
長濱	長濱	稻枝	二			一
合計	合計	近江長岡驛	三七	二〇	三〇	一一

七、傳染病患者發生狀況ニ關スル件

昭和三年度ニ於ケル傳染病患者總數ハ六一四名ニシテ過去五ヶ年(自大正十二年)平均五一五名ニ比シ稍多シ之レ本年ハ御大禮御舉行ノ年ナルヲ以テ當初ヨリ醫師會ニ通牒ヲ發シ勉メテ其ノ早期發見ニ勉メ又一般民衆ニ對シ傳染病患者隱蔽ノ惧ルヘキ所以テ機會アル毎ニ説示シ一面檢病の戸口調査ノ勵行ヲ期シ以テ傳染病患者ノ隱蔽ナキヲ期シタル結果ナリトス而シテ其總死亡率ハ一六、一ニシテ過去五ヶ年ノ總死亡率二一、五ニ比較シ著ルシク低減セリ之レ早期ニ診斷セラレ當初ヨリ適當ナル手當看護ヲ受ケタル結果ナルヘシ殊ニ腸チフスニ就キテハ本年ハ其早期發見ノ爲縣ニ於テ胆汁培養基ヲ調製シ縣下一市二百

町村役場及各警察署ニ平均三〇本宛ヲ五月中ニ配布シ置キ以テ醫師ノ利用ヲ勸奨シタルヲ以テ腸チフス患者數ハ過去五ヶ年平均二七七名ニ對シ本年ハ三六九名ノ發生ニシテ其ノ數遙カニ多キニ拘ハラヌ之レカ死亡率ハ過去五ヶ年平均二二ナルニ對シ本年ハ一四、三ニ著減セリ

縣下ニ於ケル各種傳染病ノ發生狀況ヲ見ルニ何レモ散發性ニシテ特ニ著ルシキ爆發性流行ヲ來タセル事例ナシタ、土山警察署管内ニ於ケル鮎河村(腸チフス二名發生)山内村(腸チフス一五名發生)土山町(腸チフス一二名發生)及愛知川警察署管内東小椋村(腸チフス一八名發生)等ハ稍注目ニ値スルモ之等ハ何レモ僻遠ノ地ニシテ醫師ニ乏シク從テ初發患者ノ發見稍遲延シタル爲交通關係ニヨリテ傳播シタルモノト認メラル次ニ注意スヘキハ本年ハ猩紅熱ノ發生比較的多カリシ事之ナリ、例年二四名内外ナリシノ本年ハ四八名ノ發生ヲ見タリ

傳染病患者數並死亡百分率

病名	既往五ヶ年平均		昭和三年	
	患者數	死亡百分率	患者數	死亡百分率
赤痢	三〇四	九〇	八三	二七
腸チフス	一、三八六	三二四	三六九	五三
ハラチフス	一〇七	一八	二五	一四、三
チフテリア	六二八	一三〇	八六	一一、〇
痢疾	一一二	二	四八	一六、二
紅熱	二五	三	一	一〇、〇
流行性	二、五七六	五五九	六一四	五〇、〇
計	二、五七六	一一一	九一	一六、一
五ヶ年平均	五一一	一一一	一一一	一一一

試驗場ニ於ケル検査物ニ關スル件

病別	検査件數	病別陽性數
腸チフス	一〇、四五五	三八〇
バラチフス	一二五	三八
赤痢	五四〇	一一六
デフテリ	二六四	三六
計	一一、三八四	五七〇

腸チフス豫防接種總人員

一四、二五二(内二、二〇四人ハ一回ノミ)

(附)野犬掃蕩ニ關スル件

野犬掃蕩數 二、七四二頭  
 野犬見込數 三、八四七頭

八、大禮衛生施設費、縣費豫算 四、八五二圓

内 譯	悠紀齋田關係費	一、七六〇圓	傳染病豫防費	四〇〇圓
	水質検査費	一四五圓	俸給	三、〇九二圓
	寄生蟲驅除費	一六八圓	旅費	六〇〇圓
	健康診斷費	二二七圓	備品費	五〇〇圓
	保菌者檢索費	二三四圓	消耗品費	六〇〇圓
	腸窒扶斯豫防注射費	五〇二圓	通信運搬費	一、〇七二圓
	租痘費	八四圓	圖書印刷費	七〇圓
				二五〇圓

(10) 福岡縣

御大禮ニ關スル衛生施設事項

本縣ハ主基地方トシテ勅定セラレ御大禮ニ關スル衛生施設ハ主トシテ主基齋田ヲ中心トシテ計劃シタルヲ以テ便宜上主基齋田ニ關スル施設一般ニ關スル施設並ニ特別地域ニ於ケル施設ニ分チ掲クルコト、セリ

一、主基齋田ニ關スル衛生施設事項

齋田所在地早良郡脇山村ハ戸數四〇九戸人口二、五二四人ニシテ既往ノ衛生状態ハ縣下他町村ニ比シ著シク可良ノ地ナリ乃チ大正十三年ニ於テ腸チフス患者二二人昭和元年バラチフス四人及腸チフス二人同二年赤痢一人ヲ出シタル外殆ント傳染病患者ノ發生ヲ見サル状態ナリ然レトモ其ノ附近沿道ノ町村ハ年々傳染病ヲ發生シツ、アルヲ以テ防疫ニ就テハ最モ力ヲ致シタリ而シテ同村ハ本廳ヲ距ル四里所轄警察署ヲ隔ツルコト約三里ニシテ比較的不便ノ地ナルヲ以テ同村字城ノ原ニ民家ヲ借上ケ「衛生事務所」ヲ特設シ同所ニ警察電話ヲ引キ衛生課トノ聯絡ヲ密ニシ之ニ防疫醫一人同醫務囑託二人防疫事務囑託一人防疫助手二人ヲ常置シ専ラ齋田關係者ノ健康診斷及同地方ノ檢病調査並保菌調查豫防接種、種痘等ノ防疫事務ニ從事セシメタル外衛生課所屬技術員全部ヲ擧ケテ衛生施設實施ニ從事シタリ其ノ施設及成績ノ概要左ノ如シ

甲、齋田地脇山村ニ於ケル施設

イ、健康診斷

部落全般ニ亙リ健康診斷ヲ行ヒタリ其ノ方法ハ専從者ヲシテ繼續的ニ受持區域ヲ定メテ三日乃至五日毎ニ檢病的戸口調査ヲナシ患者及保菌者發生部落ニ對シテハ連日ニ之ヲ行ヒ患者ノ早期發見ニ努メタル結果傳染病ノ疑アル注意患者十四名ヲ發見シ細菌検査ノ結果一名ハ赤痢菌六名ハバラチフス菌ヲ發見シテ夫々處置セリ

ロ、種痘及豫防接種

縣下ノ他地方ニ痘瘡ノ發生アリシヲ以テ齋田地脇山村ハ勿論其ノ他早良郡一圓ニ亘リ一般ニ臨時ニ種痘ヲ實施シ更ニ腸チ

フス豫防注射ヲモ行ヒタリ其ノ成績左ノ如シ  
種痘二萬五千九百五十九人、腸チフス豫防接種第一回一萬四千八百五十四人、第二回一萬二千六百九十二人ニ及ヒタリ

ハ、傳染病保菌者ノ檢索  
同村住民二、五二四人ニ對シ傳染病保菌者檢索ノ爲メ全村ノ住民ニ對シ三回ニ亘リ糞便ノ細菌檢査ヲ行ヒタル外保菌者患

者家族及其ノ附近等他部落ニ特ニ行ヒタルモノ、總數一萬二百七十四回ニシテ「バラチフス」保菌者四、赤痢保菌者一及

上記ノ患者ヲ發見セリ  
ニ、傳染病患者并保菌者ノ處置  
傳染病ト確定シタルモノハ輕症者多ク單ニ數回ノ下痢アリタルモノ等多カリシカ同村ハ人ノ出入多ク奉耕者ハ全村ニ亘ル

ヲ以テ患者ハ全部生ノ松原九州醫科大學附屬傳染病院ニ收容シ保菌者ハ同村隔離病者ニ收容シ菌ノ消失スル迄同所ニ滞在

セシメタリ  
ホ、脇山村民ノ寄生蟲檢査  
住民全體ノ糞便ヲ採取シ寄生蟲ノ檢査ヲ行ヒ其ノ檢査人員二千四百七十八人ニシテ其ノ内帶蟲者二千四百四十九人ニ對シテ

ハ夫々驅除ヲ行ヒタリ  
ハ、飲料水ノ檢査  
部落全村ノ井水二百九十七個ヲ採取シ衛生試驗所ニ於テ試驗シタルニ概シテ良水ニシテ其ノ内不良ナル井戸十六ニ對シテ

ハ注意ヲ促シ改善セシメタリト  
ト、清潔方法施行及蠅ノ驅除  
全村ニ亘リ梅雨期前及後各一回臨時清潔方法ヲ施行シ部落ノ汚水下水ノ排除及塵芥ノ排出方法ヲ講セシメ傳染病發生部落

ニハ此ノ外特ニ消毒の清潔方法ヲ執行シ且ツ六月ヨリ石油乳劑ヲ各戸ニ配付シテ便所塵芥溜等ニ撒布セシメ蠅ノ發生防止

ニ努メシメタリ其ノ全量八十石ニ達シ爲ニ蠅ハ非常ニ減少シ村民モ其ノ效果ヲ稱讚セリ  
チ、衛生委員ノ設置  
村内各小部落ニ衛生委員ヲ設ケシメ各種衛生事項ノ實施普及並ニ督勵ニ當ラシメ其ノ徹底ヲ期セシメタリ

リ、野犬ノ整理及豫防注射  
野犬ノ整理ヲナスト共ニ飼犬脇山村十八頭同郡内三百九十八頭ニ對シ狂犬病豫防注射ヲ勵行シタリ

ヌ、傳染病院隔離病舎ノ整備  
患者ノ收容ニ關シ支障ナカラシムル爲豫メ病舎ノ修理並ニ關係道路ノ改修ヲ爲サシメタリ

ル、合同會食ノ制限  
梅雨期ニ入ルヤ所轄署長ヲシテ全村ニ亘リ田植終了後多數會合シテ祝宴ヲ各戸ニ開クノ習慣アルヲ以テ此等並冠婚葬祭ニ

於ケル會食等ハ傳染病蔓延ノ因トナルヲ慮リ、献穀ノ大任終了迄ハ成ルヘク之ヲ遠慮セシムル様注意シタリシニ之ヲ諒ト

シテ大部分ハ之ヲ中止シタリ  
ヲ、飲食物ノ取締  
同村ニハ臨時ニ飲食店及販賣店ヲ出スモノ多カリシヲ以テ全村ニ亘リ時々飲食物ノ一齊取締ヲ爲ス外御田植祭其ノ他多數

集合ノ場合ハ特ニ技術員ヲ派シテ飲食物ノ檢査ヲ勵行セシメ各祭典後ノ晝食其ノ他ノ飲食物ニ就テモ嚴重ナル檢査ヲ爲サ

シメタリ、  
ワ、衛生思想ノ普及  
活動寫眞會講話會ヲ數回行フノ外衛生局編「清潔第一衣服ト住居」ヲ別ニ印刷シテ各戸ニ配付シ又全村ニ「清潔第一」ナ

ル美麗ナル貼札ヲ各戸ニ貯付セシメ清潔思想ノ醸成ニ努メ其ノ結果一般ニ清潔思想ノ向上ニ付見ルヘキモノアリタリ

乙、齋田奉仕者並ニ其ノ家族ニ對スル施設  
イ、身體檢査ヲ行フ（家族ハ健康診斷ニ止ム）

- ロ、全部ニ對シ三回以上保菌檢索ヲ行フ
  - ハ、腸チフス豫防接種及種痘ヲ行フ
  - ニ、寄生蟲保有者ノ驅蟲ヲ行フ
  - ホ、一ヶ月三回以上ノ健康診斷ヲ行フ
  - ヘ、奉仕者及其ノ家族ニ患者發生ノ場合申告セシメ防疫醫ノ診察ヲ受ケシム
  - ト、使染病ノ疑アル患者ヲ發見シタル時ハ直チニ隔離セシム
- 丙、齋田設定地早良郡内ニ於ケル施設

- イ、部民ノ健康診斷ヲ行フ
  - ロ、臨時清潔方法ヲ施行ス
  - ハ、腸チフス豫防接種ヲ行フ
  - ニ、臨時種痘ヲ行フ
  - ホ、活動寫真衛生講話會ヲ開催シ印刷物ノ配付等ニ依リ衛生思想ノ普及向上及攝生ニ努メシム
  - ヘ、毎週一回檢病の戸口調査ヲ行ヒ必要ナル場所ニハ隨時健康診斷ヲ行ヒ傳染病患者ノ早期發見ニ努ム
  - ト、野犬ノ整理並ニ飼犬ノ豫防接種ヲ行フ
  - チ、小部落ニ衛生委員ヲ設ケ衛生事項ノ實施並ニ督勵ニ當ラシム
- 丁、臨時祭式ノ場合ニ於ケル衛生施設
- イ、祭式等ニテ群集ノ場合ニハ赤十字支部及郡醫師會ト協同シ祭場附近ニ三個所沿道ノ村落ニ七個所ノ救護所ヲ設ケ救護ニ從事シ愛國婦人會ニ於テハ村ノ處女會主婦會等ト協同シテ救護所内ニ湯茶ノ接待所ヲ設ケ炎熱時ニ湯茶ヲ供給シタリシカ祭典時ニハ多數蟬集シ供給ニ忙殺サレタリ而シテ各救護所ニテ救護シタル病者ニシテ救護ヲ受ケタル人員五百三十八人ニ上レリ

ロ、露店其ノ他食物販賣者ノ取締ヲ勵行シ不良ナル物ハ廢棄又ハ販賣ヲ禁止シタリ

二、縣下一般ニ行ヒタル施設

イ、會議ノ開催

主基齋田本縣ニ勅定ト共ニ縣下一般施設ノ徹底並衛生思想ノ向上ヲ計ル目的ヲ以テ左記會議ヲ開催シタリ

- (1) 警察署長會議 (昭和三年三月一日) 知事訓示要綱別項ノ通り
- (2) 警察署衛生主任者會議 (昭和三年三月二十九日)
- (3) 各町村衛生主任會議 (昭和三年三月二十三、二十四日)

- ロ、縣下各警察署ニ囑託醫ヲ配置シ防疫保健ノ衛生施設ニ從事セシム
- ハ、定期種痘ヲ四月迄ニ終了セシム尙定期種痘ノ際市町村特種業者ノ臨時種痘ヲ行ハシム (種痘人員六二七、四五〇人)
- ニ、腸チフスノ豫防接種ヲ宣傳普及セシム (接種人員二十二萬五千五百五十人)
- ホ、縣下一般ニ檢病的戸口調査ヲ周密ニシ郡市醫師會衛生組合等ト聯絡ヲ保チ傳染病患者ノ早期發見ニ努メシム
- ヘ、衛生週間「七月一日ヨリ七日間」ヲ設定シ邸宅井戸便所街路等ノ清潔保持、被服、寢具、室内等ノ洗濯掃除塵芥捨場ノ掃除整理、蠅ノ驅除、臺所寢室店舗等ノ掃除整頓、接客業者ノ一齊臨檢、販賣ノ用ニ供スル飲食物ノ一齊調査檢病的一齊戸口調査ヲ勵行セシム
- ト、衛生思想ノ普及向上ノ爲衛生講話ヲ開催スルコト十七回聽講人員一六、三一八人活動寫真ニ依ル宣傳一二二回觀覽人員一一九、四六二人

- チ、衛生注意事項ノポスター三、二〇〇枚ビラ二三〇、〇〇〇枚ヲ掲出又ハ撒布シタル外「清潔第一」ノ標語印刷物二八、五〇〇枚及花柳病豫防心得三、〇〇〇冊ヲ配付ス
- リ、販賣ノ用ニ供スル乳肉清涼飲料水其ノ他ノ飲食物ノ取締ヲ嚴ニス
- ヌ、縣藥劑師會ノ奉仕ニ依リ水害地ノ侵水井戸一、九六四ヶ所ノクロール消毒ヲ實施ス

ル、野犬ノ整理（整理數五、七一〇頭）及狂犬病豫防注射（其數五、一四九頭）ヲ勵行ス  
 ヲ、上納品獻納品下命者並ニ其ノ家族ニ對シテハ衛生技師、防疫醫、警察囑託醫ニ於テ健康診斷ヲ行ヒタルモ傳染病者ヲ發見セザリキ

ワ、賜僱用辨當折詰及蒲鉾等ノ製造業者其ノ家族從業者ノ健康狀態視察及保菌檢索並ニ其飲食物檢査ヲ勵行シ技術員ヲシテ製作營業者方ニ詰切ラシメ之カ取扱ヲ監督シタリ

三、特別地域ニ於ケル防疫施設

甲、ベスト豫防ニ關スル施設

衛生局ヨリノ訓達ニ基キ門司港ニ出入スル海外船舶並ニ沿岸倉庫及沿岸人家ノ防鼠及除鼠ノ設備並ニ捕鼠ノ細菌檢査ヲ實施シタリ昭和三年七月ヨリ同年度内ノ成績左記ノ如シ

イ、沿岸倉庫

門司港沿岸ニ散在スル各倉庫ハ三十五棟此坪數一萬四千五百七十七坪ニシテ之ニ對シテハ豫メ各倉庫業者ト協定シ鼠返シ其ノ他ノ設備ヲナスノ外除鼠施設トシテ捕鼠器ヲ十坪ニ付一個宛及各出入口ニ二個宛ノ割合ヲ以テ各倉庫業者ヲシテ二、三九五個ヲ配置セシメ更ニ中途ニ於テ縣ヨリモ之ヲ貸與シテ監督ヲ嚴ニシ殺鼠劑ハ倉庫十坪ニ付二個ノ割合ヲ以テ毎月二回以上配付シ其ノ合計二十萬餘個ニ達シタリ

ロ、準沿岸地區ニ對スル施設

門司港沿岸地區ニアル人家ハ二百九十六戸ナルヲ以テ之ニ對シ捕鼠器一戸三個宛ヲ貸與シ尙殺鼠劑ハ毎月十個宛二回即チ月二十個ヲ配付シタリ

ハ、船舶ニ對スル除鼠設備

門司港内碇泊帆船ハ現在七百三十五隻ナルヲ以テ之ニ對シ毎月十個宛二回殺鼠劑ヲ配付シタリ

ニ、細菌檢査

以上ノ施設ニ依リ門司市並ニ大牟田市ニ於テ買收シタル捕鼠ニ對シテハ毎日細菌檢査ヲ爲シ其ノ數十一月迄ニ通計三萬八千九百四十六頭ニ及ヘリ

ホ、監督

前各號施設ノ完璧ヲ期スル爲メ捕鼠班ヲ組織シ毎日施行區域ヲ巡回セシメ捕鼠ノ買收除鼠及除鼠施設ノ改修及監督ニ從事

セシム

乙、コレラ豫防ニ關スル施設

上海其ノ他ニ於ケル「コレラ」發生ノ狀況ニ鑑ミ特ニ主基齋田指定縣トシテ絶體ニ病毒ノ侵襲ヲ防止セサルヘカラサルヲ以テ昭和三年七月十一日沿岸各警察署ニ對シ上海及廣東方面ヲ發シ若ハ同地方ヲ經由シテ來航シタル船舶並ニ上陸者等ニ對シテハ一層警戒視察ヲ嚴重ニシ同時ニ海上生活者及其ノ他ノ者ニ對シ檢病的調査ヲ密ニシ患者ノ早期發見ニ努ムル様訓達シ又同年八月ヨリ海上生活者並ニ荷上仲仕等ニ對シ門司若松大牟田三港ニ於テ特ニ醫師及防疫監吏ヲ増置シテ「コレラ」豫防注射ヲ實施シ通計三萬一千四百六十六人ニ對スル注射ヲ濟セリ尙ホ一面ニハ「コレラ」流行地指定ノ場合ニ於ケル豫防上ノ準備計劃ヲ爲シ居リタルモ遂ニ事無キヲ得タリ

四、御大禮ニ關スル衛生上ノ經費

イ、國費

科 目	豫 算 額	支 出 額
一、虎列刺豫防	三、五五二圓	二、六一〇圓 九四一圓
一、ベスト豫防	三、六八二圓	二、六六五圓 一、〇一七圓
一、大禮費	二、五九〇圓	一、八九〇圓 七〇〇圓

計	九、八二四圓	旅費給	七、一六五圓 二、六五九圓
---	--------	-----	------------------

口、縣費

科 目	豫 算 額		支 出 額	
	防 疫 費	旅 費	諸 費	印 刷 費
防 疫 費		四三六圓		
旅 費		四三五・九二 <sup>四</sup>		
諸 費	器具費	三一〇・八二 <sup>四</sup>	藥品費	一、六一六・七〇
	印刷費	一九九・九〇		一九九・九〇

知事訓示要綱 (昭和三年三月一日齊田事務ニ關スル縣警察長會議ニ於テ)

賢クモ 聖上陛下ニハ今秋ヲ期シテ即位ノ大禮ヲ京都ニ舉ケサセラルレ續テ大嘗ノ盛儀ヲ行ハセ給フ  
 謹テ惟フニ即位ノ禮ハ天皇萬世一系ノ皇位ヲ繼承セラレタルコトヲ皇祖皇宗ニ告ケ尙ニ一般臣民ニ知ラシメ給フ盛儀ニシテ大嘗祭ハ 天皇位ニ即キ天祖及天神地祇ヲ請饗セラル、ノ大祀ナリ共ニ一世ニ一度行ハセラル、國家最高ノ大典ニシテ中外ノ具瞻スル所ナリ  
 念フニ我國ハ萬國ニ比類ナキ金甌無缺ノ國體ヲ有シ百司萬民常ニ肅然タル忠愛ノ真情ヲ傾倒シテ皇室ノ慶福ヲ祝セサルナシ而モ今回主基地方トシテ本縣ヲ勅定セラレ大祭ニ用ヒラル、新穀ヲ供納スルノ光榮ニ浴シタルハ本縣至上ノ榮譽ニシテ縣民ハ舉リテ至誠至醇ノ慶意ヲ捧ケ以テ奉仕ノ大任ヲ果ス覺悟ナカルヘカラス

齊田ノ奉仕タルヤ固ヨリ奉耕者其ノ直接ノ責任者ナリト雖モ一般縣民モ亦其ノ責ヲ分チ鞠躬勵精以テ奉仕ノ心ヲ一ニスヘキハ言ヲ俟タス殊ニ齊田ニ關スル警衛及警護ニ付テハ其ノ所在地所轄警察署ニ於テ專ラ其ノ任ニ服スヘキモ齊田ニ於テハ數回ニ涉リ重要ナル祭典行ハレ特ニ勅使ヲ差遣セラル、場合アルヲ以テ縣下全般ニ涉リ取締上些ノ遺憾ナキヲ期セラルヘシ殊ニ精神病者及要注意人ノ視察取締ニ付テハ從來動モスレハ其ノ視察取締ニ間隙アリシカ爲メ行幸啓等ノ場合ニ於テ不祥事ヲ惹起シタル事例アリシハ洵ニ恐懼措ク能ハサル處ナリ各位ハ特ニ周密ナル注意ヲ拂ハレムコトヲ望ム  
 更ニ本縣ノ衛生状態ヲ見ルニ未タ全ク意ヲ安ニスル能ハサルモノアリ即チ本縣カ海外諸邦トノ交通ノ關門ニシテ殊ニ滿鮮上海其ノ他支那諸港ノ傳染病流行地ヨリ病毒ヲ齎シ其ノ蔓延ヲ見タル事例尠カラズ瘡痘ノ流行ハ最近稍々小康ヲ得タリト雖尙終熄ニ至ラス其他傳染病ハ昨年來漸次減退ノ傾向ニアリト雖今後氣候ノ溫暖トナルニ從ヒ患者發生ノ機會激増スルヲ以テ一層其ノ豫防撲滅ニ留意警戒セサルヘカラス各位宜シク部下ヲ激勵シ市町村、衛生組合、醫師會其他ノ團體ト協力シ專ラ衛生思想ノ普及向上ヲ計リ縣民ノ自覺ヲ促シ官民協同一致銳意各種衛生施設ノ改善ニ努メ惡疫ヲ未前ニ防止シ縣民保健ノ策ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期セラレムコトヲ望ム

脇山村戸數人口調査表 (昭和三年四月末現在)

字 名	戸 數	奉 耕 者		同 上 家 族		其 他		合 計
		男	女	男	女	男	女	
板 屋	二五	一四	一	二〇	二〇	四二	五二	一四一
(椎原)	八四	一三	一五	八〇	一三七	一七〇	一三五	四七一
谷 口	三〇	三	五	二八	四六	六〇	六三	一七七
梅ノ木田	七	二	二	一一	二〇	七	一〇	四〇
門 戸	二六	一	三	二六	五一	四四	四一	一四五
池 田	一六	六	一	一三	二六	二九	三六	九七
栗 尾	一五	二	六	一八	二七	二二	二三	九七
計		七九	七	四〇	四五	二二	四四	一七七

字種別	戸數	月別及配給數量									
		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計		
仙谷	四一九		一、六七六	一、九九二	二、一四八	一、四七四	五二六		七、八一六		
谷	一四		五六	二二六	四〇〇	四〇〇	一〇〇		一、三七二		
城	四四		一七六	一七六	一七六	一〇〇	七六		六二八		
大野	一九		七六	二二八	一五二	一〇〇	一〇〇		六三二		
野	三一		二四八	二四八	二四八	一〇〇	一〇〇		八四四		
戸井(船引)	一七		六八	一三六	六八	一〇〇	五〇		三二二		
志	三二		二八	二五六	一八	一〇〇	五〇		六六二		
栗	一五		六〇	六〇	六〇	五〇	五〇		二三〇		
池	一六		六四	六四	六四	五〇	五〇		二四二		
門戸口(梅木田)	三三		一三二	一三二	一三二	一〇〇	五〇		五四六		
谷	三〇		二〇	二〇	二〇	一〇〇	五〇		五一〇		
椎原(荒谷)	八四		三三六	三三六	三三六	三〇〇	一〇〇		一、六七二		
板屋	二五		一〇〇	一〇〇	六〇〇	三〇〇	一〇〇		一、〇〇〇		
計											

第一表 (臨山村在籍者寄留者)

字種別	戸數	月別及配給數量									
		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計		
仙谷	四一九		一、六七六	一、九九二	二、一四八	一、四七四	五二六		七、八一六		
谷	一四		五六	二二六	四〇〇	四〇〇	一〇〇		一、三七二		
城	四四		一七六	一七六	一七六	一〇〇	七六		六二八		
大野	一九		七六	二二八	一五二	一〇〇	一〇〇		六三二		
野	三一		二四八	二四八	二四八	一〇〇	一〇〇		八四四		
戸井(船引)	一七		六八	一三六	六八	一〇〇	五〇		三二二		
志	三二		二八	二五六	一八	一〇〇	五〇		六六二		
栗	一五		六〇	六〇	六〇	五〇	五〇		二三〇		
池	一六		六四	六四	六四	五〇	五〇		二四二		
門戸口(梅木田)	三三		一三二	一三二	一三二	一〇〇	五〇		五四六		
谷	三〇		二〇	二〇	二〇	一〇〇	五〇		五一〇		
椎原(荒谷)	八四		三三六	三三六	三三六	三〇〇	一〇〇		一、六七二		
板屋	二五		一〇〇	一〇〇	六〇〇	三〇〇	一〇〇		一、〇〇〇		
計											

第二表 (臨山村在籍者寄留者ニアラサル一時入村者)

字種別	戸數	月別及配給數量									
		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計		
仙谷	四一九		一、六七六	一、九九二	二、一四八	一、四七四	五二六		七、八一六		
谷	一四		五六	二二六	四〇〇	四〇〇	一〇〇		一、三七二		
城	四四		一七六	一七六	一七六	一〇〇	七六		六二八		
大野	一九		七六	二二八	一五二	一〇〇	一〇〇		六三二		
野	三一		二四八	二四八	二四八	一〇〇	一〇〇		八四四		
戸井(船引)	一七		六八	一三六	六八	一〇〇	五〇		三二二		
志	三二		二八	二五六	一八	一〇〇	五〇		六六二		
栗	一五		六〇	六〇	六〇	五〇	五〇		二三〇		
池	一六		六四	六四	六四	五〇	五〇		二四二		
門戸口(梅木田)	三三		一三二	一三二	一三二	一〇〇	五〇		五四六		
谷	三〇		二〇	二〇	二〇	一〇〇	五〇		五一〇		
椎原(荒谷)	八四		三三六	三三六	三三六	三〇〇	一〇〇		一、六七二		
板屋	二五		一〇〇	一〇〇	六〇〇	三〇〇	一〇〇		一、〇〇〇		
計											

井戸消毒表

字種別	戸數	月別及配給數量									
		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計		
仙谷	四一九		一、六七六	一、九九二	二、一四八	一、四七四	五二六		七、八一六		
谷	一四		五六	二二六	四〇〇	四〇〇	一〇〇		一、三七二		
城	四四		一七六	一七六	一七六	一〇〇	七六		六二八		
大野	一九		七六	二二八	一五二	一〇〇	一〇〇		六三二		
野	三一		二四八	二四八	二四八	一〇〇	一〇〇		八四四		
戸井(船引)	一七		六八	一三六	六八	一〇〇	五〇		三二二		
志	三二		二八	二五六	一八	一〇〇	五〇		六六二		
栗	一五		六〇	六〇	六〇	五〇	五〇		二三〇		
池	一六		六四	六四	六四	五〇	五〇		二四二		
門戸口(梅木田)	三三		一三二	一三二	一三二	一〇〇	五〇		五四六		
谷	三〇		二〇	二〇	二〇	一〇〇	五〇		五一〇		
椎原(荒谷)	八四		三三六	三三六	三三六	三〇〇	一〇〇		一、六七二		
板屋	二五		一〇〇	一〇〇	六〇〇	三〇〇	一〇〇		一、〇〇〇		
計											

石油乳劑配給表

字種別	戸數	月別及配給數量									
		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計		
仙谷	四一九		一、六七六	一、九九二	二、一四八	一、四七四	五二六		七、八一六		
谷	一四		五六	二二六	四〇〇	四〇〇	一〇〇		一、三七二		
城	四四		一七六	一七六	一七六	一〇〇	七六		六二八		
大野	一九		七六	二二八	一五二	一〇〇	一〇〇		六三二		
野	三一		二四八	二四八	二四八	一〇〇	一〇〇		八四四		
戸井(船引)	一七		六八	一三六	六八	一〇〇	五〇		三二二		
志	三二		二八	二五六	一八	一〇〇	五〇		六六二		
栗	一五		六〇	六〇	六〇	五〇	五〇		二三〇		
池	一六		六四	六四	六四	五〇	五〇		二四二		
門戸口(梅木田)	三三		一三二	一三二	一三二	一〇〇	五〇		五四六		
谷	三〇		二〇	二〇	二〇	一〇〇	五〇		五一〇		
椎原(荒谷)	八四		三三六	三三六	三三六	三〇〇	一〇〇		一、六七二		
板屋	二五		一〇〇	一〇〇	六〇〇	三〇〇	一〇〇		一、〇〇〇		
計											

一、本表消毒ハ傳染病發生部落ノミ行ヒタリ  
 一、船引椎原ニ傳染病患者發生セシモ之等ハ總テ溪水使用者ナルヲ以テ消毒ヲ行ハス

未済人員ハ注射當時妊娠其他病氣又ハ他行等ニ依リ注射不可ノモノナリ





海岸倉庫地帯ヲ防疫區域ト爲シ之ヲ左ノ二防疫區ニ分テ豫防ニ從事ス

(イ)第一防疫區 浦五島町及玉江町ニ於ケル電車通兩側ノ倉庫及岸壁舊稅關構内及千馬町ニ於ケル電車通以南ノ地帯  
此ノ區域内ノ現在戸數二百七十九戸、倉庫五十三棟

(ロ)第二防疫區 新地町及出島町河岸ノ倉庫地帯  
此ノ區域内ノ現在戸數百六十五戸、倉庫十八棟

(二)五月二十九日、長崎警察署ニ右地帯内ニ於ケル倉庫業者及町務係、衛生組長ヲ召集シ除鼠其ノ他之カ豫防事務ニ付キ指導ニ關スル打合セヲ爲シタリ

(三)第一防疫區ヲ豫防ノ第一線ト爲シ之ヲ更ニ三區ニ小分シ一分區毎ニ防疫監吏一名宛ヲ配置ス、第二防疫區ヲ第二線ト爲シ之ニ防疫監吏一名ヲ配置ス

(四)防疫醫一名ヲシテ細菌検査及全「ペスト」豫防區域ニ於ケル除鼠其ノ他豫防事務ノ指導監督ヲ爲サシム

(五)各防疫監吏ハ防疫主任ノ指揮ヲ受ケ受持區域ヲ巡視シテ第一防疫區ニ在リテハ少クトモ五日毎ニ、第二防疫區ニ在リテハ七日毎ニ各倉庫ニ於ケル殺鼠劑ノ取替へ及倉庫ノ破損箇所ノ修理ニ就テノ指導監督ニ從事シ且ツ日々除鼠成績並豫防事務ニ關スル報告ヲ爲サシム

(六)殺鼠劑ハ縣衛生課ニ於テ調製シ第一防疫區ハ五日毎ニ一回、第二防疫區ハ七日毎ニ一回種類ヲ取替へテ配布ス

(七)各倉庫及民家ニ捕鼠器ヲ配布シ捕鼠ヲ督勵ス捕鼠器ハ倉庫ノ占有者若ハ所有者ヲシテ之ヲ購入セシメ民家ニ在リテハ市又ハ縣ニ於テ購入配布シタリ

(八)右區域内ニ於ケル一般民家ノ流先ニシテ破損セル箇所ニ對シテハ「コンクリート」漆喰敵等ノ類ヲ以テ充分填塞シ以テ鼠ノ交通棲息スルコトナカラシメ尙石油空罐ノ底部ニ多數ノ孔ヲ穿チテ之ヲ流先ニ垂下シ以テ下水溝ニハ汚水ノミヲ放流シ殘飯等ノ流下ヲ防止ス殺鼠劑ハ倉庫同様各民家ニモ之ヲ配布シタリ

(九)長崎市役所ニ對シ除鼠ニ要スル人夫四名ヲ要求之ヲ防疫監吏ニ配布シタリ

(十)縣書記一名ヲシテ「ペスト」豫防事務ニ關スル細菌検査ノ補助並材料蒐集ニ専從セシメタリ

(十一)外壁ガ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニテ鼠ノ潛入シ得サル設備アルモノ、外ハ鼠返シヲ設備セシメタリ鼠返シハ成ルヘク兩柱間ニ嵌挿スル式トシ外ニ對シテ六十前後ノ角度ヲ保チ高サハ二尺以上トシ外ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノト爲ス鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置カシメ夜間ニ際シ荷役スル時ハ其ノ間強力ナル燈光ヲ以テ其ノ入口ヲ照射スルコト、セリ

(十二)長崎港内ニ於ケル般船ニ貨物ヲ積卸シスル兩平船ニ對シテモ捕鼠器又ハ殺鼠劑ヲ配布シテ捕鼠ニ努メタリ

(十三)長崎紡織株式會社及三井倉庫ニ對シ捕鼠器及殺鼠劑ヲ配布シ捕鼠ノ督勵ヲ爲スト同時ニ流先、下水溝ノ破損セル箇所ニ對シテハ「コンクリート」漆喰敵等ノ類ヲ以テ充分填塞シ以テ鼠ノ交通棲息スルコトナカラシメタリ

(十四)「コレラ」豫防ニ關スル除鼠ノ成績ハ別表ノ通りナリ

第二「コレラ」豫防ニ關スル事項

(一)管下各警察署ヲ督勵シ常ニ部民ノ健康狀態ニ注意シ「コレラ」患者發生シ居ルニ不拘之カ發見ニ付遲延スルカ如キコトナカラシメタリ

(二)飲食物殊ニ鮮魚販賣所ニ對シ清潔ノ保持、捕蠅、切身蒲鉾及「ユビキ」類ニ對シ覆蓋ノ勵行並菓子販賣者ニ對シテハ清新ナル紙袋及「ビンセット」ノ使用ヲ獎勵シタリ

(三)衛生組合ノ活動ヲ促シ屢々蠅取デーヲ催シ一般民ニ除蠅ノ勵行ヲ爲サシメ特ニ小學校兒童ニ除蠅ノ必要ヲ説示シ家庭ニ於テ之カ實行ヲ爲サシメタリ

(四)五月下旬ヨリ縣細菌検査所ニ於テ「コレラ」豫防疫ノ製造ヲ爲シタリ

(五)長崎市、佐世保市ニ於ケル石炭人夫、艦船賣込商、水船其ノ他船舶ト關係ヲ有スル者並其ノ家族、料理店、飲食店、貸座敷、宿屋、魚類販賣者、洗濯業者其ノ他ノ接客業者ヲ主トシ兼ネテ一般市民ニ對シ「コレラ」豫防注射ヲ施行スルノ計劃ヲ樹テ所轄警察署、市役所ヲ督勵シ極力豫防注射ノ勵行ニ努メタル處之カ注射ヲ受ケタルモノ第一回十七萬二千九百





二、飲食物取締ニ關スル件

飲食物ノ取締ニ關シテハ常ニ警察署長ヲ督勵シ之カ實績ヲ收ムルニ努メツ、アルモ特ニ昭和三年ハ縣下各警察署管内醬油醸造業並酒類販賣業者ヨリ其ノ醸造ニ係ル醬油及酒類ヲ收去シ防腐劑ノ検査ヲ施行シタル結果其ノ成績醬油ハ検査數百六十七内不適ノモノ十二、清酒ハ検査數千二百四十四内不適ノモノ十四、直酎ハ検査數四百十一内不適ノモノ二其ノ他味淋、燒酎葡萄酒ニ在リテハ不適ノモノナシ

三、屠場ニ關スル件

屠場ニ就テモ及フ限り之カ取締ニ力ヲ竭セシカ其ノ成績左ノ如シ

屠場 (昭和三年自四月至十一月)

屠場數	臨檢度數	増築場數	改築ヲ命シタル場數	修理ヲ命シタル件數	所要器具ノ新調ヲ命シタル件數
一四	二五	一	一	三八	一九

屠畜検査 (昭和三年自四月至十一月)

牛	犢	馬	羊	豚	計
九九三	一〇九	七三五	一五	一五、八六七	一七、七一九

廢棄肉斤量及廢棄臟器 (昭和三年自四月至十一月)

畜別	區分	廢棄肉斤量	廢棄臟器個數
牛		一、四六二斤	一九四

計	豚	馬
八二八、一三三	二、二九六	一〇二
八二四、三七五	二、六八八	
二、九八四		

屠殺禁止頭數 (昭和三年自四月至十一月)

牛	犢	馬	羊	豚	計
二	一	六	一	四	一二

四、牛乳搾取場及牛乳販賣店取締ノ件

本件ニ就テモ及フ限り之カ取締ニ力メタリ其ノ成績左ノ如シ

牛乳搾取所臨檢成績表 (昭和三年自四月至十一月)

搾取場數	臨檢度數	乳牛檢頭數	病牛發見數	修理ヲ命シタル件數	清潔保持ニ付キ注意ヲ與ヘタル件數	其ノ他注意ヲ與ヘタル件數
一六八	八〇九	六、二三三	一四	六三	一二五	六七

牛乳検査成績表 (昭和三年自四月至十一月)

検査件數	比重不足	脂肪不足	腐敗	汚物ノ混入ニ依リ廢棄ヲ命シタル件數	同上徴量ニ依リ注意ニ止メタル件數
二二、二五二	五	一一	一	一七二	一八五

五、防疫ニ關スル件

イ、蠅取週間ノ實施